

ビル空調のリニューアルに蓄熱システムを採用

ファクシミリやプリンターなどの電子製品を製造しているこの企業では、本社ビルの空調設備リニューアルに伴い、個別分散型氷蓄熱式空調システムを導入しました。

この本社ビルのリニューアル前の空調システムは、ターボ冷凍機および重油焚き温水ボイラーを熱源とした単一ダクト方式のセントラル型空調システムでしたが、今回の空調機器設備の選定にあたっては、環境性を重視し、クリーンで安価な夜間電力を利用する蓄熱空調システムを選択しました。

改善効果

- ・氷蓄熱システムの利用により受電設備容量の増加を抑制
- ・割安な夜間電力の利用によりランニングコストを低減
- ・個別操作により部分エリア空調が可能

設備概要

- ・氷蓄熱ビル用マルチエアコン：
45.0kW (出力) × 17台
35.5kW (出力) × 5台

